安全データシート

１．化学品及び会社情報

製品名	エアロボンド
整理番号	BG02700-50
会社名	日商エアロ株式会社
住所	東京都練馬区東大泉２－２６－２６
担当部門	営業部
電話番号	（03）3921-7121
FAX番号	（03）3925-0835
緊急連絡先	営業部
電話番号	（03）3921-7121
推奨用途	接着用途
使用上の制限	接着用途以外には使用しない

作成　2021年　10月　13日
改訂　2023年　4月　10日

２.危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：

物理化学的危険性

引火性液体	：区分２

健康有害性

急性毒性（経口）	：区分に該当しない
急性毒性（経皮）	：区分に該当しない
急性毒性（吸入－気体）	：区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性（吸入－蒸気）	：区分４
急性毒性（吸入－粉じん及びミスト）	：区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	：区分２
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：区分２Ａ
呼吸器感作性	：分類できない
皮膚感作性	：分類できない
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：分類できない
生殖毒性	：区分１Ａ、追加区分
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：区分１(中枢神経系)
	：区分３(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分１(神経系､中枢神経系､腎臓)
誤えん有害性	：分類できない

環境有害性

水生環境有害性　短期（急性）	：区分２
水生環境有害性　長期（慢性）	：区分３
オゾン層への有害性	：分類できない

ＧＨＳ表示：

絵表示またはシンボル



安全データシート

注意喚起語　　：危険

危険有害性情報

- 引火性の高い液体及び蒸気
- 吸入すると有害
- 皮膚刺激
- 強い眼刺激
- 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- 臓器（中枢神経系）の障害
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 眠気又はめまいのおそれ
- 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（神経系、中枢神経、腎臓）の障害
- 水生生物に毒性
- 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き：

吸入すると中毒その他健康障害を起こす恐れがありますから、取り扱いには下記の注意を守って下さい。

安全対策・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない事。
・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける事。－禁煙。
・防爆型の電気機器/局所排気装置を使用し、粉じん/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける事。
・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する事。
・容器は丁寧に扱い、内容物をこぼさない事。
・取扱い後は、手をよく洗う事。口をすすぐ事。
・環境への放出を避ける事。

応急措置・火災の場合：消火する為に、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用する事。
・物的被害を防止するためにも流出したものを吸収する事。漏出物を回収する事。
・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗う事。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断を受ける事。
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う事。直ちに医師の診断を受ける事。
・吸入した場合：気分が悪い時は、医師の診断を受ける事。飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡する事。
・汚染された衣類を直ちに脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする事。

保管　・容器を密閉しておく事。日光から遮断する事。換気の良い場所で保管する事。（５～３５℃）
・子供の手の届かないところに置く事。

廃棄　・容器は、中身をすべて使い切ってから廃棄する事。
・内容物/容器を、許可を受けた専門業者に委託し廃棄する事。

＊接着用途以外には絶対に使用しない事。

ＧＨＳ分類に関係しない又はＧＨＳで扱われない他の危険性：

国／地域情報　　消防法危険物　第四類第一石油類　非水溶性　危険等級　Ⅱ

安全データシート

３．組成及び成分情報

物質の特定

化学物質・混合物の区別　：混合物

化学名又は一般名　　：合成ゴム系接着剤

成分及び濃度又は濃度範囲：

成分名	CAS RN	濃度又は濃度範囲%	ＰＲＴＲ法		労安法通知対象物質
			含有量%	分類	
クロロプレンゴム等	－	約２８	－	－	－
（非晶質シリカ）	(112926-00-8)	（１－２）	－	－	該当
（ロジン）	(8050-09-7)	（１未満）	－	－	該当
（カーボンブラック）	(1333-86-4)	（１未満）	－	－	該当
（酸化亜鉛）	(1314-13-2)	（１未満）	－	－	該当
トルエン	108-88-3	30－36	33	第１種	該当
酢酸エチル	141-78-6	17－23	－	－	該当
ｎ－ヘキサン	110-54-3	16－22	19	第１種	該当

※　成分の濃度は、上記の範囲で変動します。

※　ＰＲＴＲ法は、２０２３年４月１日施行分(改正法)を示しています。
現行法と改正法の詳細は、後述の項目１５に記載しています。

※　労安法通知対象物質のＲ４年及びＲ５年追加予定分は、予定値情報で該非を判断しています。

４．応急措置

吸入した場合　　：空気の新鮮な場所へ移動して寝かせる。頭痛等の異常がある場合、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：すぐに拭き取り、石鹸水及び水で洗い流す。炎症等が出た場合、速やかに医師の診断を受ける。

眼に入った場合　　：流水にて最低１５分間洗眼した後、異常のある場合は直ちに眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合　　：多量の水を飲ませ吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。他人が無理に吐かせてはいけない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状　　：めまい、頭痛、吐き気

応急措置をする者の保護に必要な注意事項　　：知見なし

医師に対する特別な注意事項　　：知見なし

５．火災時の措置

適切な消火剤　　：小火災－粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂
：大火災－散水、噴霧水、一般の泡消火剤

使ってはならない消火剤　：棒状注水

火災時の特有の危険有害性：火災によって刺激性、毒性のガスを発生するおそれがある。
引火性の高い液体及び蒸気

特有の消火方法　　：付近の着火源を断つ。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて充分に容器を冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
風上から消火する。

安全データシート

６.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

作業者は適切な保護具（８．ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し､眼､皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項：

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を避ける。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和：

少量の場合、吸収したものを集める時、清潔な帯電防止工具を用いる。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑える事ができない恐れがある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取り扱う時、用いる全ての設備は接地する。
蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。

二次災害の防止策：

全ての着火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）
蒸気発生の多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。
関係個所に通報し応援を求める。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

防爆の電気、換気、照明器具及び防爆用工具のみを使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。－禁煙。
「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
静電気対策のために、装置、機器などの接地を確実に行う。

局所排気・全体換気：

「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
液の漏洩や蒸気の発散を極力防止する。

安全取扱注意事項：

眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。
眠気又はめまい、呼吸器の刺激、器官の損傷のおそれがあるので、本製品に接触、吸入、飲み込みをしてはならない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

安全データシート

接触回避：

「１０．安定性及び反応性」を参照。

高温物、スパーク、火気を避け、酸化性物質、有機過酸化物との接触を避ける。

衛生対策：

保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件：

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－禁煙。

容器を密閉して、冷暗所、換気の良い所で貯蔵すること。

酸化剤から離して保管する。

保管場所は、耐火構造、床は不浸透性のものとし、地下への浸透、外部への流出を防止する。

指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。

施錠して貯蔵すること。

混触危険物質：

「１０．安定性及び反応性」を参照。

安全な容器包装材料：

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

鋼、ステンレス鋼及びアルミニウムは容器として耐久性がある。

種々なプラスチックを侵すので使用を避ける。

国連容器等級　　Ⅱ

８．ばく露防止及び保護措置

化学名	管理濃度	許容濃度				
		日本産業衛生学会		ＡＣＧＩＨ		
		ppm	mg/m³	ＴＷＡ	ＳＴＥＬ	備考
トルエン	20ppm	皮　50	皮　188	20ppm	－	BEI
酢酸ｴﾁﾙ	200ppm	200	720	400ppm	－	－
ｎ－ﾍｷｻﾝ	40ppm	皮　40	皮　140	皮　50ppm	－	BEI
非晶質ｼﾘｶ	－	－	第3種粉塵 吸入粉塵　2 総粉塵　8	－	－	－
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	－	－	第2種粉塵 吸入粉塵　1 総粉塵　4	3mg/m³ (吸引性粒子)	－	－
酸化亜鉛	－	－	第2種粉塵 吸入粉塵　1 総粉塵　4	2mg/m³ (吸入性粒子)	10mg/m³ (吸入性粒子)	－
ロジン	－	－	－	(0.001mg/m³)	－	－

日本産業衛生学会2020年（）：暫定値　　ＡＣＧＩＨ 2019年（）：変更提案値

皮：経皮吸収

※BEI:ACGIH　生物学的ばく露指標許容値

安全データシート

生物学的許容値：日本産業衛生学会(2020年)

物質名	測定対象		生物学的許容値	試料採取時期
	試料	物質		
トルエン	血液	トルエン	0.6mg/L	週の後半の作業終了前
				2時間以内
	尿	トルエン	0.06mg/L	週の後半の作業終了前
				2時間以内
ヘキサン	尿	2,5-ﾍｷｻﾝｼﾞｵﾝ	3mg/g･Cr(酸加水分解後)	週末の作業終了時
	尿	2,5-ﾍｷｻﾝｼﾞｵﾝ	0.3mg/g･Cr(加水分解なし)	週末の作業終了時

設備対策：局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
防爆の電気、換気、照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
「火気厳禁」、「関係者以外立ち入り禁止」等の必要な標識を見やすい箇所に掲示すること。
安全管理のため状況に応じて、ガス検知器等を設置する。

保護具：呼吸用保護具　－適切な呼吸保護具(有機ガス用防毒マスク､高濃度の場合、送気マスク空気呼吸器)を着用すること。
手の保護具　－保護手袋(耐油性ゴム手袋)
眼、顔面の保護具　－保護眼鏡(側板付き普通眼鏡またはゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具　－保護長靴、耐油性(不浸透性･静電防止対策用)前掛け、防護服(静電防止対策用)等

９．物理的及び化学的性質

外観
　物理状態　：液体(粘稠液)
　色　：黒色
　臭い　：有機溶剤臭
融点・凝固点　：データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲　：６８－１１０℃
可燃性　：引火性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：１．１％～１２．８％
引火点　：－２２℃
自然発火点　：２２０℃
分解温度　：データなし
ｐＨ　：測定できない
動粘性率　：データなし
（粘性率：約６３００mPa･s／２０℃）
溶解度　：水に不溶
ｎ－オクタノール／水分配係数(log値)　：データなし
蒸気圧　：知見なし
密度及び／又は相対密度(比重)　：約０．８９

安全データシート

相対ガス密度(空気＝１)　　：空気より大
粒子特性　　：該当せず(液体)

１０．安定性及び反応性

反応性　　：情報なし
化学的安定性　　：常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
危険有害反応可能性　　：強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件　　：フレーム及びスパーク発生装置から遠ざける。
混触危険物質　　：強酸類、酸化性物質
危険有害な分解生成物　　：燃焼により煙、ガス（一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素）が生成される。

１１．有害性情報

	トルエン	酢酸エチル	ｎ－ヘキサン
急性毒性(経口)	ラット LD50=5000mg/kg 区分に該当しない	ラット LD50=5600mg/kg　区分に該当しない	ラット LD50=15800mg/kg 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	ラット LD50=12000mg/kg 区分に該当しない	ウサギ： LD50>18000mg/kg　区分に該当しない	分類できない
急性毒性(吸入：気体)	区分に該当しない(分類対象外)	区分に該当しない(分類対象外)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入：蒸気)	ラット　LC50(4時間)>3319ppm　区分4	ラット　LC50(4時間)=14640ppm　区分4	ラット　LC50(4時間)=48000ppm 区分に該当しない
急性毒性(吸入：粉じん及びミスト)	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ：中等度の刺激性　区分2	ウサギ：刺激性なし 区分に該当しない(分	ウサギ：軽度の刺激性、 ヒト：ヒリヒリ感と灼熱感及び一過性の紅斑を認めた　区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ：軽度の刺激性 区分2B	ウサギ：区分2B	ウサギ：軽度の刺激性 区分2
呼吸器感作性	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚感作性	モルモット及びヒト：感作性なし　区分に該当しない	モルモット：感作性陰性　区分に該当しない	分類できない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
発がん性	IARC：グループ3、 ACGIH:A4、EPA:D　分類できない	分類できない	分類できない
生殖毒性	区分1A　追加区分：授乳に対するまたは授乳を介した影響	分類できない	区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系)、 区分3(気道刺激性､麻酔作用)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)	区分3(麻酔作用､気道刺激性)

安全データシート

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、腎臓)	区分に該当しない	区分1(神経系)
誤えん有害性	区分1	分類できない	区分1
引用元	ＮＩＴＥ	ＮＩＴＥ	ＮＩＴＥ

	ロジン	酸化亜鉛	非晶質シリカ
急性毒性(経口)	ラット LD50=7600mg/kg　区分に該当しない	ラット LD50>5000mg/kg　区分に該当しない	ラット LD50>5000mg/kg(沈降シリカ)　区分に該当しない
急性毒性(経皮)	ウサギ LD50>2500mg/kg、ラット LD50=2500mg/kg 区分に該当しない	ウサギ LD50>5000mg/kg　区分に該当しない	ウサギ LD50>2000mg/kg(シリカゲル)　区分に該当しない
急性毒性(吸入：気体)	区分に該当しない(分類対象外)	区分に該当しない(分類対象外)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない	区分に該当しない(分類対象外)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	ラット　LC50(6時間)=約1.5mg/L(4時間換算値:約2.3mg/L)　区分4	ラット　LC50(4時間)>5.7mg/L　区分に該当しない	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	ラット：軽度の刺激性 区分に該当しない	ウサギ：刺激性なし 区分に該当しない	ウサギ：刺激性はみられなかったとの報告 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ラット：軽度の刺激性 区分2B	ウサギ：刺激性なし～軽度の刺激性　区分に該当しない	ウサギ：軽度の結膜発赤がみられたが回復性を示したとの報告がある　区分2B
呼吸器感作性	日本産業衛生学会：気道第1群　区分1	分類できない	分類できない
皮膚感作性	モルモット：マキシマイゼーション試験で陽性、ヒト：アレルギー性接触皮膚炎の報告 区分１	モルモット：区分に該当しない	分類できない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	EPA：Ⅰ　分類できない	分類できない
生殖毒性	分類できない	区分2	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない	区分1(呼吸器、全身毒性)	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない	分類できない	分類できない
誤えん有害性	分類できない	分類できない	分類できない
引用元	ＮＩＴＥ	ＮＩＴＥ	ＮＩＴＥ

	カーボンブラック
急性毒性(経口)	ラット　LD50>8000mg/kg　区分に該等しない
急性毒性(経皮)	分類できない

安全データシート

急性毒性(吸入：気体)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入：蒸気)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入：粉じん及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ：刺激性はみられなかった　区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ：刺激性はみられなかった　区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	IARC:グループ2B、ACGIH:A3　区分2
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)
誤えん有害性	分類できない
引用元	ＮＩＴＥ

１２．環境影響情報

生態毒性　　：混合物としてデータなし
残留性・分解性　：混合物としてデータなし
生体蓄積性　　：混合物としてデータなし
土壌中への移動性　：混合物としてデータなし
オゾン層への有害性　：データなし

	トルエン	酢酸エチル	ｎ－ヘキサン
水生環境有害性　短期(急性)	甲殻類（Ceriodaphnia dubia）48時間EC50=3.78mg/L　区分2	甲殻類(ミジンコ)48時間EC50=262mg/L、魚類(ファットヘッドミノー)96時間LC50=230mg/L 区分に該当しない	甲殻類(オオミジンコ)48時間LC50=3.88mg/L 区分2
水生環境有害性　長期(慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急性分解性-あり(良分解性(2週間でのBODによる分解度：123%)、甲殻類(Ceriodaphnia dubia)7日間NOEC=0.74mg/L 区分3	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性-あり(28日でのBOD分解度＝66、112、105%)、甲殻類(オオミジンコ)の21日間NOEC=2.4ｍｇ/L 区分に該当しない	急速分解性-あり(BODによる分解度：100%、生物蓄積性－低い(log kow=3.9)　区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない	分類できない	分類できない
引用元	ＮＩＴＥ	ＮＩＴＥ	ＮＩＴＥ

	ロジン	酸化亜鉛	非晶質シリカ
水性環境有害性　短期(急性)	甲殻類(オオミジンコ)	甲殻類(オオミジンコ)	甲殻類(オオミジンコ)
	48時間EC50=4.5mg/L	48時間LC50=0.098mg/L	24時間
	区分2	区分1	EC50>10000mg/L、魚類

安全データシート

			（ゼブラフィッシュ） 96時間LC50=10000mg/L 区分に該等しない
水性環境有害性　長期 (慢性)	急性毒性-区分2､急速分解性-ない(BODによる分解度:36-46%)　区分2	金属化合物で水中での挙動が不明であるため、慢性毒性データを用いた場合、藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 72時間 NOEC=24μg　Zn/L　(29.9μg　ZnO/L)　区分1	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない	分類できない	分類できない
引用元	ＮＩＴＥ	ＮＩＴＥ	ＮＩＴＥ

	カーボンブラック
水生環境有害性　短期 （急性）	甲殻類(オオミジンコ)　24時間EC50>5600mg/L､魚類(ウグイ)　96時間LC50>1000mg/L　区分に該当しない
水生環境有害性　長期 (慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない
引用元	ＮＩＴＥ

１３．廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物　　:特別管理産業廃棄物(廃油と廃プラスチック類の混合物)として、許可を受けた専門業者に委託する。乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。

汚染容器及び包装：空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後、リサイクル又は処分する。

１４．輸送上の注意

国際規則

国連番号　　：ＵＮ　１１３３
国連輸送名　　：接着剤
国連分類　　：クラス３（引火性液体類）
容器等級　　：Ⅱ
海洋汚染物質　　：非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

「７．取扱い及び保管上の注意」の項の記載に従う。
容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、破損の無い様に、積み込み、荷崩れ防止を行う。

国内規則がある場合の規制情報

陸上輸送　　：消防法、毒物および劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。
海上輸送　　：船舶安全法、港則法に従う。
航空輸送　　：航空法に従う。
緊急時応急措置指針番号(容器イエローカード指針番号)　　：１２８

安全データシート

１５．主な適用法令

労働安全衛生法

危険物　－引火性の物
有機溶剤中毒予防規則　－第2種有機溶剤
表示対象物質　－トルエン、酢酸エチル、ｎ－ヘキサン
施行令改正による追加物質
Ｒ３年分追加物質(Ｒ６．４．１施行)　：
該当せず
Ｒ４年分追加物質(Ｒ７．４．１施行予定)　：
該当せず
Ｒ５年分追加物質(Ｒ８．４．１施行予定)　：
非晶質シリカ
通知対象物質　－トルエン、酢酸エチル、ｎ－ヘキサン、ロジン
酸化亜鉛、カーボンブラック
施行令改正による追加物質
Ｒ３年分追加物質(Ｒ６．４．１施行)　：
該当せず
Ｒ４年分追加物質(Ｒ７．４．１施行予定)　：
該当せず
Ｒ５年分追加物質(Ｒ８．４．１施行予定)　：
非晶質シリカ

消防法　－危険物第四類　第一石油類　非水溶性(危険等級Ⅱ)
毒物及び劇物取締法　－該当せず
悪臭防止法　－トルエン、酢酸エチル
危険物船舶運送及び貯蔵規則　－引火性液体類
廃棄物処理と清掃に関する法律　－特別管理産業廃棄物(廃油)
特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(ＰＲＴＲ法)
現行法（２０２３年３月３１日迄）　(政令番号)　：
第1種指定化学物質　－トルエン：３００、ノルマルーヘキサン：３９２
改正法（２０２３年４月１日施行）　(管理番号)　：
第1種指定化学物質　－トルエン：３００、ヘキサン：３９２

１６．その他の情報

文献：　ＪＩＳ　Ｚ７２５３－２０１９
ＪＩＳ　Ｚ７２５２－２０１９
化学物質の危険、有害便覧　(中央労働災害防止協会編)
ＧＨＳ分類結果データベース　(独立行政法人製品評価技術基盤機構-NITE)
危険物船舶運送及び貯蔵規則

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。
危険・有害性の評価は必ずしも充分でないので、取扱いには充分注意して下さい。